



**地球環境基金助成金**

# **要望書の書き方講座**

**応用編**

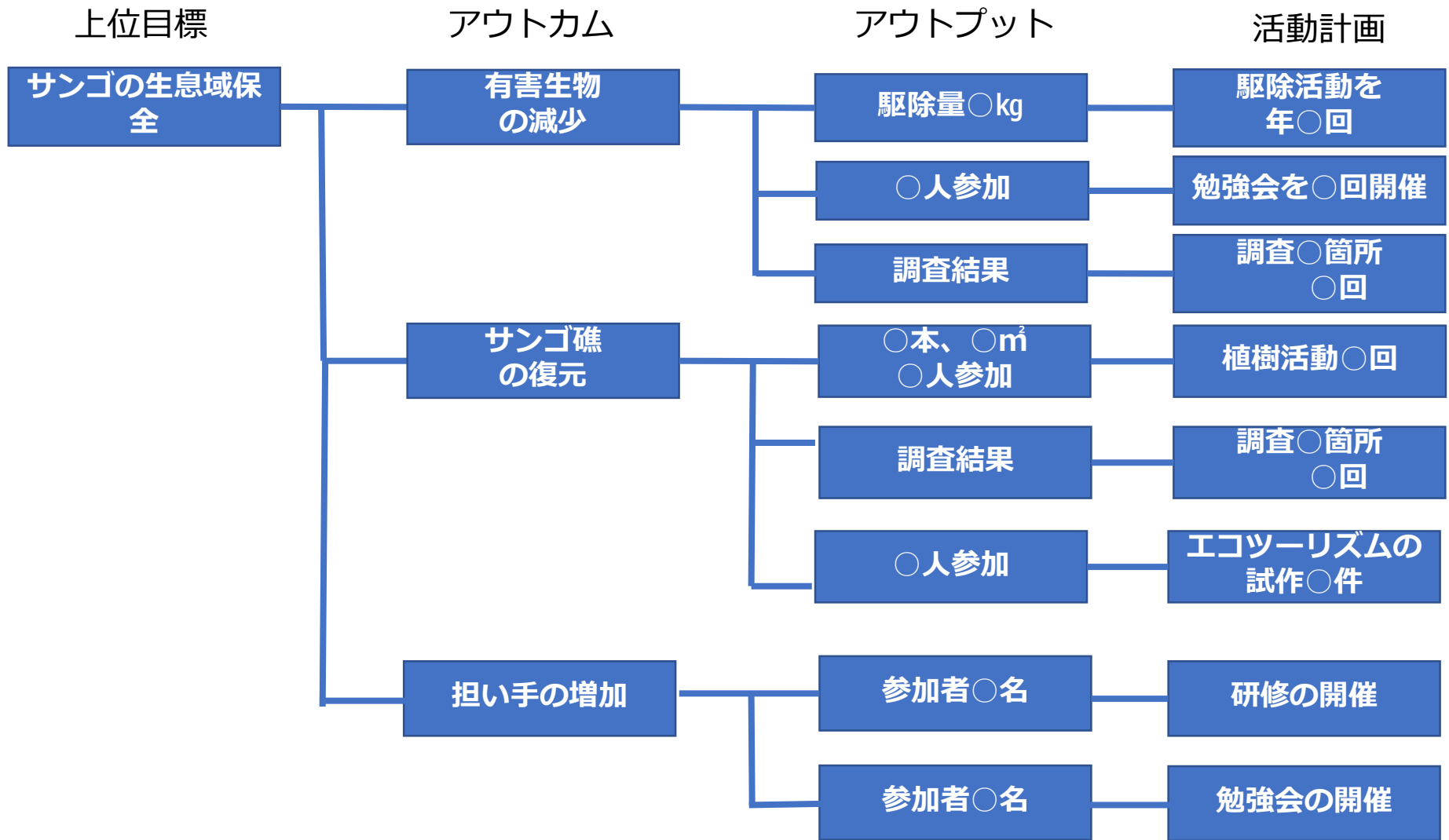
**～ロジックモデルの活用～**



独立行政法人 **環境再生保全機構**

**地球環境基金部**

# (例) サンゴの保全活動の場合のロジックツリー



本当はここからが重要！！

# ロジックツリー精査の重要ポイント



## 1.各ステップの前後関係を確認する

上位目標 ↔ アウトカム ↔ アウトプット

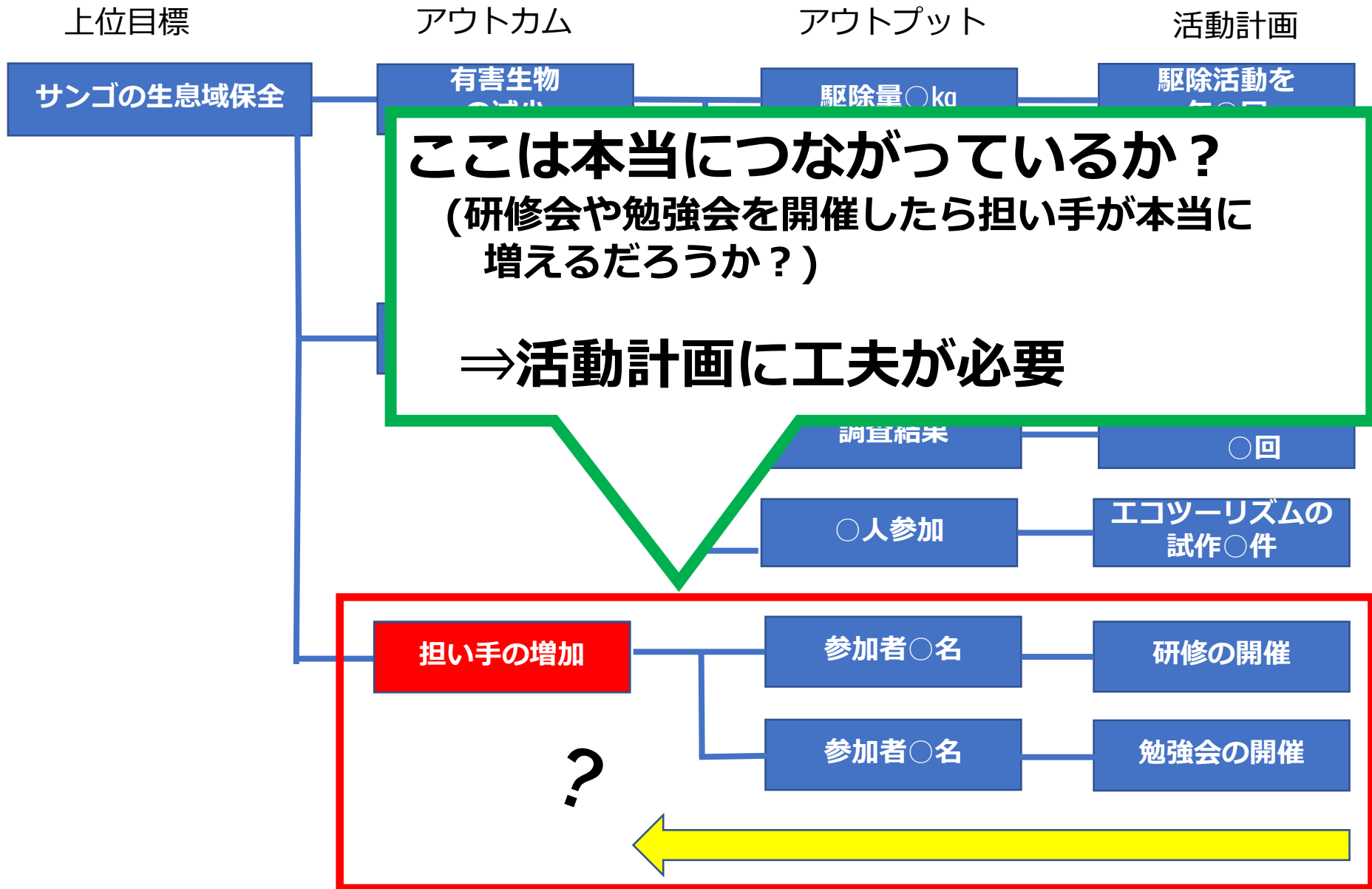
⇒論理的な記載となっているか

2.アウトカムが、本当に上位目標の達成につながるよう設定されているか。

⇒足りているか？ ずれていないか？

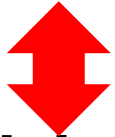
⇒計画が妥当か

# ロジックツリーの精査



# 各ステップの前後関係を考える

**アウトカム**      サンゴ礁を保全する担い手が増える。



**アウトプット**      ①参加者〇名  
                         ②参加者〇名

## 【検討のポイント】

①担い手づくりの受け皿を考えましょう

- ・ 担い手の役割は何なのか？
- ・ 誰に、どのように担ってもらうのか？

②アウトプットの測り方を工夫しましょう。

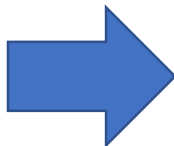
- ・ **アンケートをとる**。その場合、目的や狙いを確認することのできる質問になっているか。
- ・ アンケートを通じて参加者の意識・行動変容を促しつつ、今後担い手になってくれそうか意向を確認する。

# 各ステップの前後関係の考え方

## 課題

サンゴ礁が減少しているにもかかわらず、適切な保全の枠組みがない!

課題を  
解決するための



## 上位目標



サンゴの生息域が保全される!

## アウトカム



サンゴ礁を保全する担い手が増える  
イベント協力者(実施者) リストができる

## アウトプット

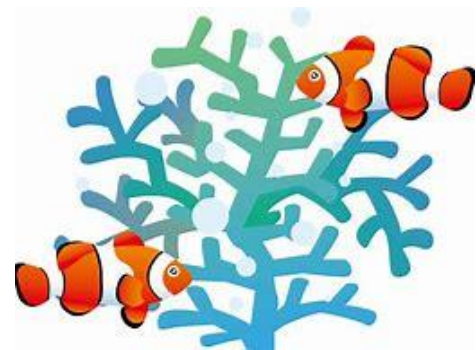
- ①参加者〇名
- ②参加者〇名
- ③**実践者〇名**



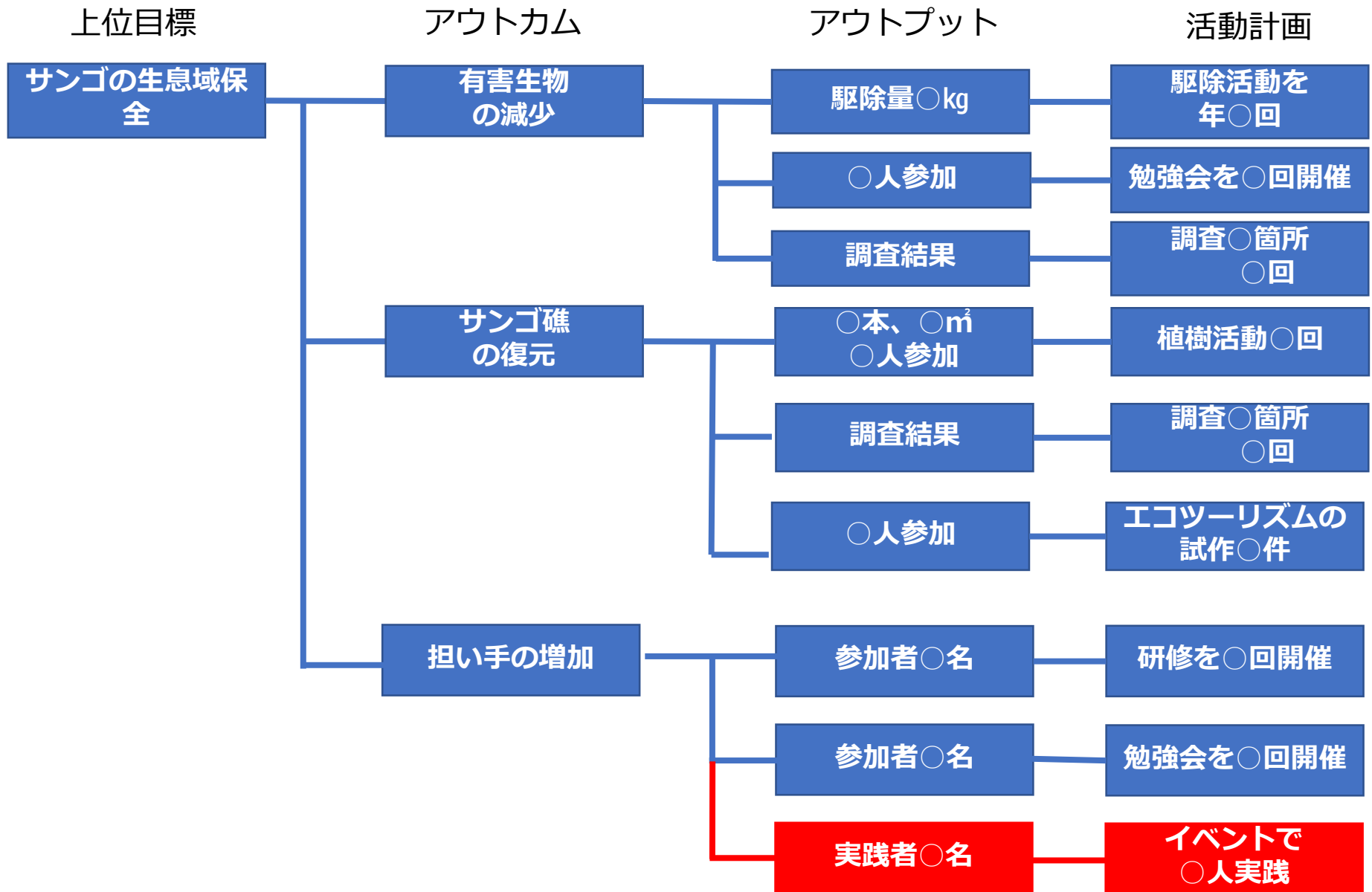
研修・勉強会のアンケート・振り返りでの理解度、取組意欲などを確認(参加者の〇%)

## 活動計画

- ①関心度が高い人向けに研修の開催
- ②地域住民向けに勉強会の開催
- ③**研修に参加してもらった人に協力してもらい、イベントで実践**



# ロジックツリーで整理すると



# ロジックツリー精査の重要ポイント



## 1.各ステップの前後関係を確認する

上位目標 ↔ アウトカム ↔ アウトプット

⇒論理的な記載となっているか

## 2.アウトカムが、本当に上位目標の達成につながるよう設定されているか。

⇒足りているか？ ずれていないか？

⇒計画が妥当か



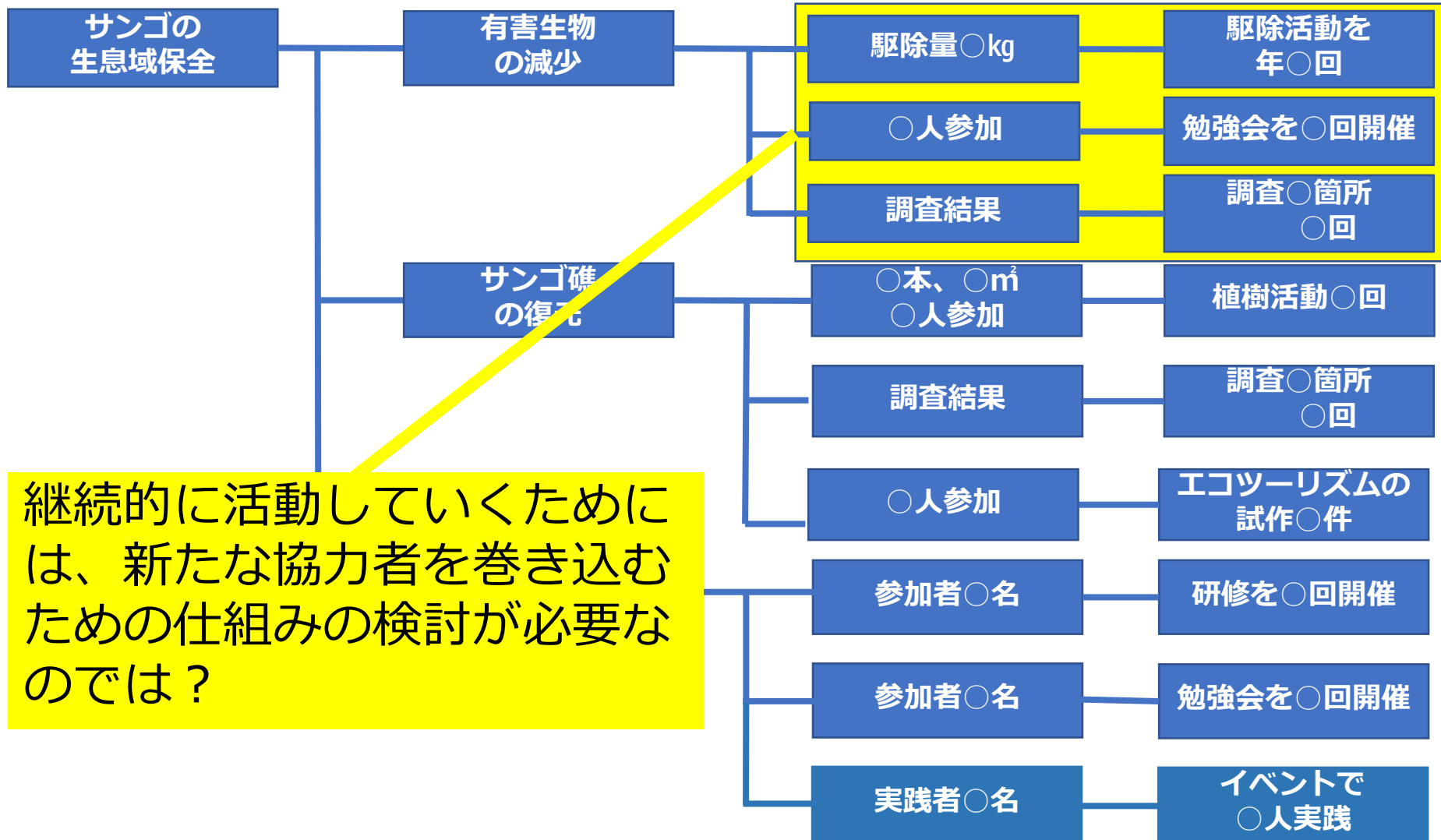
# アウトカムが過不足なく整理できているか

上位目標

アウトカム

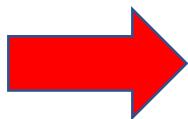
アウトプット

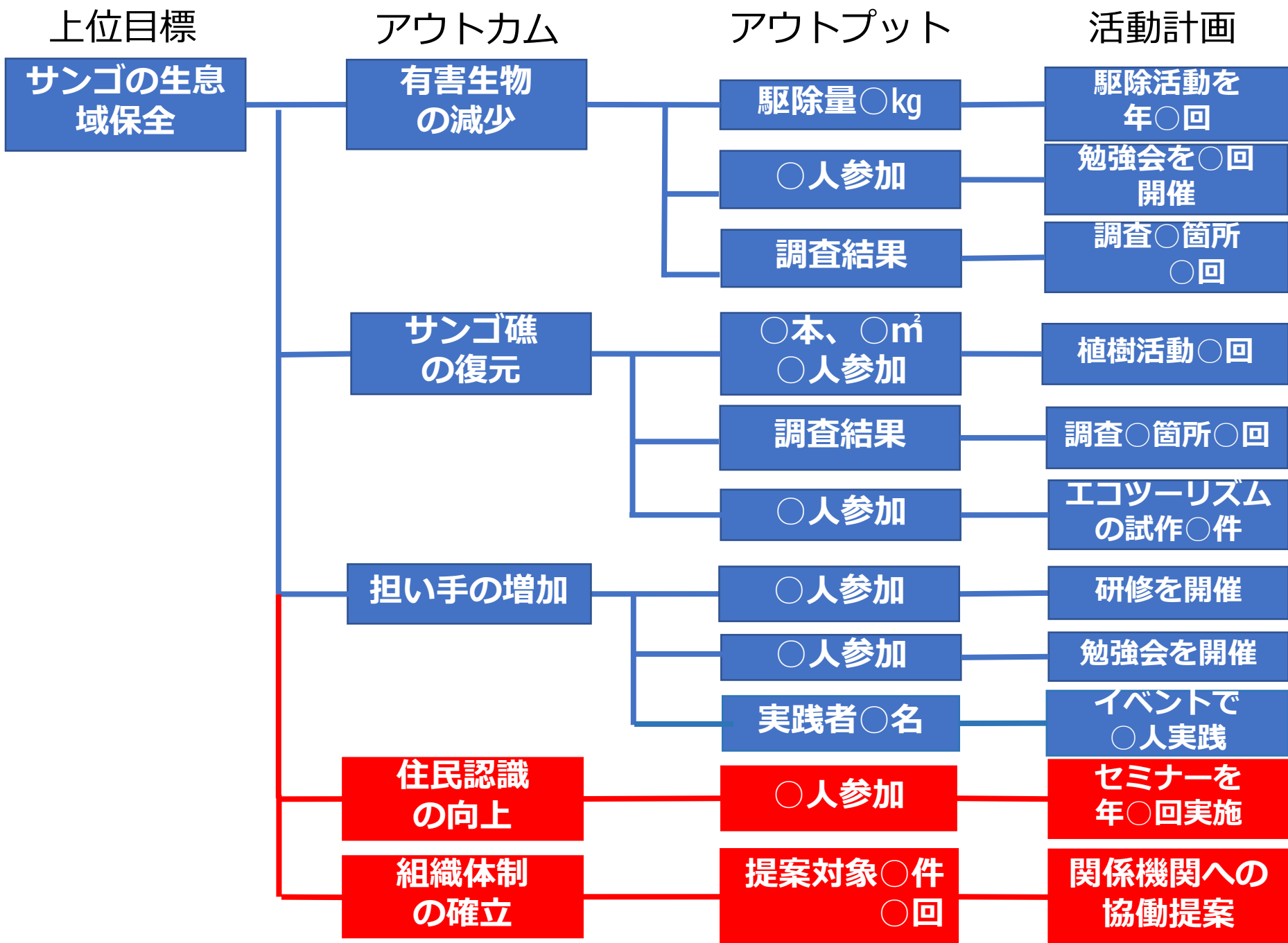
活動計画



継続的に活動していくためには、新たな協力者を巻き込むための仕組みの検討が必要なのでは？

地域住民に向けたサンゴの保全活動の紹介する場を設ける！  
多様な主体が一緒に取り組むよう協働提案をする！





# まとめ

- ①ロジックモデルを整理しましょう  
実現したいことからどのような活動が必要なのかを考え、整理することが大事です。
- ②ロジックツリーを精査しましょう  
一度作って終わりではなく、上位目標を達成するには何が必要か、繰り返し見直しましょう。



**ご視聴ありがとうございました。**

**PART1と合わせて、助成金の要望や日々の活動にご活用ください。**